

# 片瀬だより

令和4年3月25日発行  
 編集・発行  
 片瀬だより編集委員会  
 藤沢市片瀬3丁目9番6号  
 片瀬公民館  
 電話 29-7171  
 FAX 25-8907

## 片瀬公民館(本館)

**片瀬福寿学校(高齢者学級) ※要予約**  
 日時: 5月12日(木)から2月16日(木)  
 まで 午後2時から4時まで  
 全14回  
 対象: 65歳以上 60人

**スマホお助け隊 ※要予約**  
 日時: 4月12日(火)・5月10日(火)  
 6月14日(火)  
 午前9時から正午まで  
 定員: 6人  
 スマホにお困りの方、スマホお助け隊  
 に相談してみませんか?

**フレイル予防講座 ※要予約**  
 日時: 5月18日(水)・6月1日(水)  
 6月15日(水)・6月29日(水)  
 午前10時から正午まで  
 定員: 20人  
 フレイル予防のための運動・栄養改善・  
 口腔機能向上などの学び

**おひざの上のおはなし会 ※要予約**  
 日時: 4月15日(金)・5月20日(金)  
 6月17日(金)  
 各回、午前11時から正午まで  
 対象: 乳幼児と保護者5組(先着順)  
 ※今年度より火曜日から金曜日に変更に  
 なります。

**あそびの達人になって  
 子どもたちと一緒に遊ぼう!**  
 ※要予約  
 日時: ①3月26日(土) 片瀬公民館  
 午前9時から正午まで  
 ②4月16日(土) 川名清水水谷戸  
 午前9時から午後3時30分まで  
 ③5月14日(土) 少年の森  
 午前9時から午後3時30分まで  
 対象: 高校生以上60歳まで 12人

**おもちゃの病院 ※予約不要**  
 日時: 4月16日(土)・5月14日(土)  
 6月18日(土)  
 午後1時30分から3時30分まで  
 ※無料で直しますが、部品代がかかる場合  
 があります。

## 4月から、毎週水曜日は子育て広場の日!! (片瀬公民館・第一談話室)

**<毎月第3水曜日>「楽しく子育て」 ※要予約**  
 日時:  
 ・4月20日(水) 『保育士による体を動かすお遊戯』  
 午前10時から正午まで  
 ・5月18日(水) 『たのしくえいご』  
 ①午前10時から10時45分まで  
 ②午前11時から11時45分まで  
 ・6月15日(水) 『栄養相談』  
 ①午前10時から10時45分まで  
 ②午前11時から11時45分まで  
 対象: 各回、乳幼児と保護者8組ずつ



**<毎月第3水曜日以外>  
 「ここにこ広場」 in 片瀬公民館 ※予約不要**  
 乳幼児と保護者の方のフリースペースです。妊婦さ  
 んもどうぞ。  
 日時: 午前10時から正午まで

「ここにこ広場」は、片瀬地区ボランティアセンター運営  
 委員会の事業です。  
 毎月第1週を除く毎週水曜日に、臨床心理士の原陽子  
 さんによる個別子育て相談(要予約)をボランティアセン  
 ターにて行います。こちらも、ご利用ください。

## 片瀬しおさいセンター

**手芸のじかん ※予約不要**  
 日時: 4月25日(月)・5月23日(月)  
 6月27日(月)  
 午前10時から正午まで  
 ※作りたいものを自分のペースで。材料  
 や道具はご自分でお持ちください。

**赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム  
 『Mamaのリカバリーピラティス  
 with Baby』 ※要予約**  
 日時: 5月31日(火)  
 ①午前10時から10時45分まで  
 ②午前11時から11時45分まで  
 対象: 各回、生後4ヶ月から7ヶ月ま  
 のお子さんと保護者各4組

**卓球・バドミントン開放 ※予約不要**  
 日時: 4月10日(日)・5月15日(日)  
 6月12日(日)  
 <バドミントン>各回16人 入れ替え制  
 午前9時から10時20分まで  
 午前10時40分から正午まで  
 <卓球>各回32人 入れ替え制  
 午後1時30分から2時50分まで  
 午後3時10分から4時30分まで  
 各回、15分前から受付開始(先着順)

この他にも、様々な事業の企画をしております。  
 地域回覧・広報ふじさわをご覧ください。



今年度より月に1度、日曜日に変更にな  
 ります。

詳細につきましては、館内の配布チラシ・地域回覧・広報ふじさわをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止・変更になる場合があります。  
 公民館事業のお知らせ  
 ◎申込は、すべて本館へ電話または来館で(平日のみ午前8時30分から午後5時まで)

### 龍口寺（2） 妙見堂・手水舎・鐘楼 大書院が国登録有形文化財に

前回は藤沢市指定重要文化財の建物を紹介しましたが、今号では国の登録有形文化財に指定された建物を紹介します。

龍口寺の妙見堂・手水舎・鐘楼・大書院が昨年の2月26日に国登録有形文化財の指定を受けました。国土の歴史的景観に寄与しているものという、指定基準を満たしていると判断されました。

寂光山龍口寺は日蓮宗の本山であり、日蓮上人が文永8年（1271年）に遭遇した「龍の口法難」の地に所在しています。新編相模国風土記稿によると、法難から間もない弘安年間（1278年～1297年）の創立とし、寺伝では延元2年（1337年）に日蓮の直弟子・日法が一堂を建立と伝えられています。

◆妙見堂 享保5年（1720年）竣工。山門の北西に東面して建っています。屋根は入母屋造・銅板葺の妻入のお堂です。妙見大菩薩を奉安しています。

◆手水舎（ちようずしゃ）山門の北東側、妙見堂の向かいに西面しています。屋根はむくり（建築用語。上に向かって反っていること）の切妻造・棧瓦葺です。柱の上部には「波に亀」切妻には丸彫で雲龍の彫刻を飾るなど、幕末らしい技巧性が随所

に見られます。水盤の銘から、慶応3年（1867年）ごろに地元の石工・秋元菊治郎が施工したことが知られています。



妙見堂



手水舎

◆鐘楼 本堂の東南に位置し、南北に棟を向けて建っています。現在の鐘楼は、明治14年（1881年）建築の鐘楼を中山法華経寺（千葉県市川市）から昭和44年（1969年）に移築されたものです。

◆大書院 山門の東側のやや小高い位置に西面して建っています。信州松代で蚕糸業により財をなした窪田家が蚕糸御殿で、昭和10年に移築されました。3層の瓦葺の大きな屋根が作り出す美しさは一見の価値があります。



鐘楼



大書院

2回に分けて龍口寺の建物を紹介してきました。境内の桜もそろそろ咲く季節。お花見を兼ねて散策にお出かけください。

### 片瀬の老舗を訪ねて④

#### 「永塩ふとん店」

東り町、常立寺の前にある「永塩ふとん店」を紹介します。

店主の永塩信之さんのお父様は群馬の出身。藤沢の布団店で修業後、現在の地でお店を始めました。信之さんが昭和18年生まれましたので、それ以前から商売をされていたことになりそうです。建物も当時と変わっていないそうです。中にお邪魔すると、使い慣れた足ふみシンや年代ものの事務機などがあり、昭和を舞台とした映画のセットの中に入ったようです。



足ふみシン

現在のように布団を使い捨てるのが主流になる前は、どの家庭でも古くなった布団を打ち直しに出したものでした。どなたも新品のように生まれ変わった布団に驚いた経験があるのではないのでしょうか。当時は片瀬小学校の裏に工場があり、忙しい毎日でも過ごされていたとのこと。今でも布団の仕立て直しの依頼が

あれば10日ほどで、仕上げを下さるそうで、布団をくるむ側生地、布団の厚さ、硬さなどを相談してお願いできるそうです。



そばがらもありま  
す。枕もお好みでい  
かがですか？

信之さんは何十年も「片瀬スポーツの会」の役員や消防団、青少年協会の会員として活動されてきました。片瀬で育った子どもたちはきっと、どこかで永塩さんのお世話になったことでしょう。「片瀬は古くからの人、新しく住人になった人たちが仲良く暮らすよい町です。自分は体を動かすことが好き、子どもと遊ぶのは好き」と柔らかな笑顔でインタビューに答えて下さいました。



優しい笑顔の永塩さん



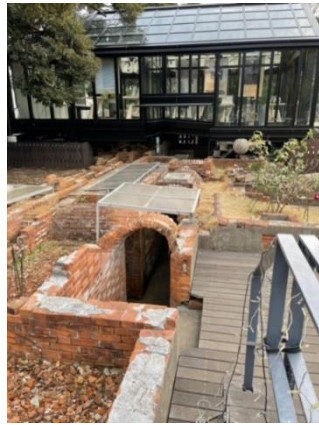
創業当時から変わらない外観



歴史再発見

サムエル・コッキング苑

年も押し迫った12月29日、「片瀬だより」の編集員でリニューアルされたサムエル・コッキング苑を訪ねました。好天に恵まれ遠足気分です。エスカーに乗り、お参りを重ねながら目的地へ。お目当てのコッキング苑に入ると、2分咲き程のウインターチューリップが、いざれ訪れる人々には感動を与えると予感させられました。

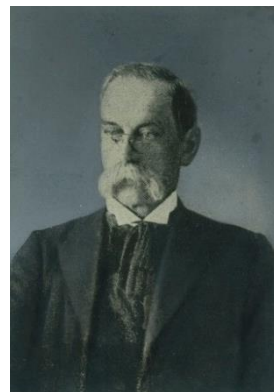


温室の遺構

歴史を振り返ると、コッキング苑は、偶然の産物のように思えてきます。27歳のサムエルは、1868年同志と開港して間もない神奈川を目指しましたが、相模湾江の島界隈で時化に合い、さまよったサムエルは、翌年3月5日横浜に着きました。時化にあわなければ、緑の江の島の美しさに触れることもなく、その後の植物園遺構の存在もなかったのではないのでしょうか。

コッキングは、若い時から貿易を生業として莫大な財をなしたようです。コレラがはやると消毒用に石灰剤を生産販売し、また薄荷やゆり根をヨーロッパに輸

出し、更には日露戦争でも武器を売り巷では死の商人と揶揄する人もいたようです。実は異なるようだ。「江の島サムエル・コッキング苑」開業1周年、平成16年神奈川新聞には、記載されています。



サムエル・コッキング氏 (電子博物館提供)

コッキングは、明治15年ごろ江の島神社の所有だった3200坪の土地を妻名義で購入して、当時一級の技術人を導入し、西洋と東洋の様式を折衷した一大庭園の開設を試みました。石が敷き詰められた循環園路、本格的な暖房装置を整えた温室群などが作られて、明治18年には植物園として完成を見たようです。植物に造詣が深く洋ランやシマナンヨウスズギなど南洋の珍しい植物があふれていたという。人柄を忍ばずエピソードとして忘れてならないのは、植物園で孤児院の事業を補助するために慈善園遊会を開いたりしていたことです。

身近な所で、百余年前の歴史に触れることが出来る。こんなうれしい事はありません。歴史に触れる機会を作られたらいかがでしょうか。

新連載

「江の島は教材の宝庫」

はじめまして。鹿児島英克と申します。よろしくお願ひします。

これまで藤沢市立小学校の教員や教育文化センターの理科研修担当を務める中で、江の島・片瀬エリアについて勉強させていただきました。その経験を活かして担当させていただきます。

江の島は「教材の宝庫」です。自然・文化・歴史など、様々な視点で学校教育にとつても生涯教育にとつてもネタが満載です。ちよつと知識が増えるだけで、一度見かけた風景に意味が伴い、より興味がわいてくると思います。そのような話題を一つずつお届けしたいと思います。

〈プロフィール〉

鹿児島 英克

逗子市立逗子小学校教頭。

藤沢市科学少年団副団長。



私の散歩道④

「富士山を見に行く」

散歩の一番の目的は西浜からの美しい富士山を眺めること。

山本橋から上流を眺めて、丹沢山塊がすっきり見えるときは富士山にも期待が持てます。境川の西側提を、今の時期は桜の開花を楽しみに歩き、西浜駐車場のウッドデッキから富士山を眺めます。

昨年、最も美しかったのは、十月二十九日、六時二十六分の富士山です(写真)。雪を被った富士山に朝日が当たり始め、赤紫色の裾野も美しかった。

突堤に下りて歩いていくと、太公望が釣りをしています。バケツをのぞき、収獲を確かめるのも楽しいです。

富士山を眺めながら幸せを感じる往復四十分ほどの早朝散歩です。



(片瀬4丁目 在住N)

片瀬のワンショット



東浜からの写真です。いつ頃、撮影されたものでしょうか (答えは4面です)

ふるさと片瀬、今昔あれこれ⑤

中村 喬

「ホツカイさん」のいた頃

片瀬山在住で先年亡くなられた作家の佐江衆一さんが著書『散歩名人』藤沢』の中で「ホツカイさん」について書いている。佐江さんはいう。「或る日、彼が重いガラクタを積んだリヤカーを坂で引けずに困っていたので、私が押してやるとよるこんで、私がいいというのにタバコを一箱買ってくれた」

また龍口寺の法難会の際の「ホツカイさん」について、こうも書いている。「ホツカイさんは、本堂脇にちよこんと座って団扇太鼓をポロンポロン叩きながら念仏をとなえていた。彼のリヤカーを後押ししてそのお礼にタバコをもらったことのある私は、祭の時は彼の膝前にお賽銭をあげたものだった」

戦後しばらくの間、「ホツカイさん」は廃品を集めて生計を立てるためなのだろうか、片瀬の町でよくリヤカーを引いていた。その姿は私の記憶にもはつきりと残っている。私たちは親しみを込めて彼を「ホツカイさん」と呼んでいた。北海道からやってきたから「ホツカイさん」なのだという話も聞いたが、確かなことは分からなかった。

「ホツカイさん」を友人の一人という佐江さんは中世以来の「ほ

かいびと」の末裔ではないかという。「ほかいびと」とは、人の門戸に立つて祝いの言を唱えて歩いた人のことである。

私も子どもの頃、父の手伝いで石灰の袋を沢山積んだリヤカーを押していたことがあった。日記に残された次のような文章がある。

【上り坂を越せずに苦勞していた時、うしろの方から自転車に乗っておってきた人が「さっきのふみきりで苦勞していたから、たぶんこのさかほこせないだろうと思っておつてきたんだよ」といいながらリヤカーをおしてくれた。】

多くの人の暮らしは貧しかったが、どこかで心が通い合っていた。

【リヤカーを引く手押す手に

春の風】



のぞいてみよう！公民館

片瀬公民館の講座やサークルを紹介させていただきます。

「イルカ学級」

市内全公民館で実施されている「乳幼児家庭学級」の片瀬公民館の名称が「イルカ学級」です。このイルカ学級の歴史は長く、1歳半から未就園のお子さんを保育ボランティアさんに預け、保護者の方がご自分のことに目を向けて学ぶ場です。

お子さんは保護者の方と離れて初めての集団生活を体験し、人と人のかかわりを学びます。最初は保護者と離れて泣いてしまっても、ベテランの保育ボランティアさんのおかげで、慣れてくると楽しくて「もつと遊びたい」と泣く子もいます。

保護者の方の子育てへの不安や心配が解消され、心身ともにリフレッシュできるよう、アロマや骨盤矯正など「自分のための時間」を大事に過ごせるような講座の準備を進めております。

対象年齢のお子さんをお持ちの方、ご参加をお待ちしております。

片瀬市民図書館からのご案内

電話 28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも一人6冊まで2週間借りられます。

【開室時間】火、日曜日

午前10時〜午後5時

《新刊案内》

- 「李王家の縁談」 林 真理子
- 「ボーダーズ」 堂場 瞬一
- 「愚かな薔薇」 恩田 陸
- 「おわかれはモーツァルト」 中山 七里
- 「今を生きるあなたへ」 瀬戸内 寂聴

- 「異変ありや (空也十番勝負)◎」 佐伯 泰英
- 「旅の絵本X」 安野 光雅
- 「学習まんが人物館 北条政子」 (小学館)

編集後記

霜柱の朝、何気なく見上げた空に笑みがこぼれました。青空の白い雲が私に微笑んでいたのです。

オミクロン株の感染が一気に拡がり、また緊迫した感染予防に気遣う日々になりました。コロナ禍は、人との距離を遠ざけ、繋がりを希薄にさせてきました。

そんな日々だから、私は身近な世界で喜びや感動を見いだし、心を元気にして、コロナ禍を乗り越えていきたいと過してきます。(一)

【片瀬のワンショット答え】明治中期